

資料3

(1) 環境基本計画 重点施策の目標

施策の方向	施策の柱	施策の項目	目標					H26年度 上半期の進捗状況	主管課
				25年度	26年度	27年度	28年度		
「環境市民」による活動の促進	「環境市民」をふやします	幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実	わかば環境ISOで独自の分野に取り組んでいる幼稚園・小中学校数	52園・校	54園・校	55園・校	56園・校	今年度から私立幼稚園1園の新規参加があり、平塚市立小中学校全43校、平塚市立幼稚園全5園、私立幼稚園5園の計53校(園)が、それぞれ共通メニュー及び独自メニューの実践に引き続き取り組んでいる。	教育総務課
	「環境市民」の取組や連携を支援します	市民活動や企業の取組に対する支援	環境ファンクラブの会員数	102人	160人	180人	200人	緑化まつり、ひらつか環境フェア等を実施し、ひらつか環境ファンクラブの周知を行い、上半期では、2団体の新規入会があった。今後も各種イベントやホームページ等の機会を利用して活動を広く紹介し、会員数の増加を目指している。	環境政策課
			平塚市環境共生型企业懇話会の参加企業延べ数	65企業	95企業	100企業	100企業	上半期の参加企業延べ数 35企業 (内訳) ・第1回懇話会 11企業 ・第2回懇話会 11企業 ・環境フェアへの展示 4企業 ・第1回役員会 5企業 ・第2回役員会 4企業	産業振興課
自然環境の保全と再生	生物多様性を保全します	生物多様性の保全対策の推進	自然についての講座、観察会等の参加人数	75人	45人	45人	45人	博物館周辺の植物を観察する自然観察さんぽ会(2回、9人)や、セミの抜け殻の見分け方や金目川の野鳥を観察する自然教室(3回、22人)を開催した。	博物館 環境政策課
	里山を保全し再生します	里山の保全・再生とふれあいの推進	里山保全モデル事業の開催回数・参加人数	7回 80人	6回 90人	6回 90人	6回 90人	5月に第1回平塚市土屋頭無地区里山保全協議会を開催し、市民ボランティアや里山保全団体、ジュニアリーダーなど16名が参加した。第2回は10月に開催予定であり、3月まで毎月開催する。	環境政策課
	農地を保全し活用します	農業の活性化と農業とのふれあいの推進	耕作放棄地面積	5.8ha	3.3ha	3.0ha	2.7ha	「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」を10月上旬から実施するため、現時点では実績値の把握ができていない。引き続き両主管課で連携して事業を進める。	農業委員会 事務局 農水産課
			市民農園数	22箇所 (1,171区画)	23箇所	24箇所	25箇所	市民農園の候補地を選定(西真土)。開設に向け事前調査等の手続きを行った。	農水産課

施策の方向	施策の柱	施策の項目	目標					H26年度 上半期の進捗状況	主管課
				25年度	26年度	27年度	28年度		
都市環境の 保全と創造	うるおいとやすらぎのある まちにします	みどりのネットワークの 形成	市民1人当たりの都 市公園の面積	5.40㎡	5.40㎡	5.45㎡	5.50㎡	平成25年度末に新たに4.70haを供用開始し、 一人当たり0.21ha増えた。平成26年度上半期 では、その数値を維持した。	みどり公園・ 水辺課
		さわやかで清潔なまち づくりの推進	美化推進モデル地区 の指定	4地区	4地区	4地区	4地区	美化推進モデル地区に対し、ごみ袋やチラシの配 布、またクリーンひらつか指導員の派遣によるさ わやか条例のPRを行った。	循環型社会 推進課
地球環境保 全への貢献	地球温暖化 防止に取り組 みます	新エネルギーの導入 促進	一般住宅の太陽光発 電システムによる発 電力	8,558kW (助成対象 累計)	10,000 kW 適宜見直し	(11,560kW)	(13,270kW)	各種イベントにおけるリーフレットの配布やホーム ページ等の掲載により、制度の周知を積極的に 行った。9月末現在で、400件の枠のうち約1 60件の申し込みを受け付けた。	環境政策課
		くらしや事業活動にお ける環境への配慮の 促進	「ひらつかCO2 CO2プ ラン」に取り組んだ人 数	8,508人	9,000人	10,000人	10,000人	小中学生編と一般家庭編に9,745人の参加報告が あった。引き続き、受付と集計を行っている。	環境政策課
		平塚市環境共生型企 業懇話会の参加企業 延べ数(再掲)	65企業	95企業	100企業	100企業	上半期の参加企業延べ数 35企業 (内訳) ・第1回懇話会 11企業 ・第2回懇話会 11企業 ・環境フェアへの展示 4企業 ・第1回役員会 5企業 ・第2回役員会 4企業	産業振興課	
	循環型社会を つくります	廃棄物の発生抑制・資 源化・適正処理の推進	市民1人が1日に排出 するごみの量	907g	911g	910g	910g	年度を通しての実績値のため未集計。 なお、発生抑制、資源化、適正処理の推進施策は 実施している。	循環型社会 推進課
		ごみの資源化率	23.8%	25.0%	25.0%	25.0%	年度を通しての実績値のため未集計。 なお、施策は実施している。	循環型社会 推進課	

(2)環境基本計画 重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容		事業計画 (下線は変更後)			26年度			主管課	
					26年度	27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定		
「環境市民」による活動の促進	「環境市民」をふやします	幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実	①幼稚園・保育園・小中学校での環境学習の推進	「わかば環境ISO」の推進	「わかば環境ISO」の推進	幼稚園・小中学校での取組の推進	⇒	⇒	前年度の反省を踏まえ、各校(園)で計画を作成し、実践を行う。 平成25年度の各校(園)の主な取組み事例等をホームページで紹介する。	各校(園)で共通メニュー及び独自メニューについて計画を作成し実践している。 小学校1校、中学校1校、幼稚園1園の計3校(園)の取組み事例を紹介するためにホームページを更新した。	前期に続き、継続的な実践を重ね、外部評価者により、取組み状況の確認を行う。 平成26年度の取組み報告に基づいた各校(園)の主な取組み事例を紹介する。	教育総務課 教育指導課 環境政策課
						ホームページにおける取組状況の発信(年2回更新等)						
				民間幼稚園での「わかば環境ISO」の取組の推進	⇒	⇒	私立幼稚園園長会等で取組みの啓発に努める。	まだこの取組みに参加していない私立幼稚園へ制度について案内し、新規に取組み参加を呼びかけた。	来年度から新たに取組みを開始する幼稚園が生じるよう、引き続き私立幼稚園園長会等で取組みへの参加を呼び掛ける。			
			保育園における環境への取組の促進	保育園における環境への取組の促進	環境配慮に関する学習や家庭への普及・啓発の実施(公立保育園全園で実施)	⇒	⇒	ゴーヤ等を利用した緑のカーテンに積極的に取り組みます。特に、夏場の水利用に配慮する。	行事の際にペットボトルなどの廃材を利用して作品を作成した。ゴーヤ等の緑のカーテンを実施した。水遊びの際に節水を心がけ、排水を再利用した。	廃材を利用した作品を作るなど、イベント等で積極的にリサイクルを行う。	保育課	
					民間保育園での環境配慮物品の利用促進等(全園に協力依頼)	⇒	⇒	継続して環境に配慮してもらうよう呼びかける。	環境配慮行動チェックシートを配布し、環境に対する意識を高めてもらうよう呼びかけた。	継続して環境に配慮してもらうよう呼びかける。		
②学校などでの環境学習の支援	環境学習教材や情報の提供	環境学習教材や情報の提供	「ごみ学級」等の実施	「ごみ学級」等の実施	全小学校28校で実施	⇒	⇒	小学校4年生を対象に市内28校で実施を予定している(4月~6月)。	申し込みのあった市内27校にて実施し、2199人の児童が参加した。	実施予定なし。	循環型社会推進課 環境政策課	
						⇒	⇒	・教材の貸出について、ホームページや各イベント等での周知を行う。 ・「わたしたちの平塚」を新3年生へ配布する。 環境学習教材の貸し出しを行う。	・教材の貸出について、ホームページや各イベント等で周知を行い、2件(書籍、手回し発電機等)の貸出をした。 ・環境学習教材の貸し出しを行った。 ・新しい環境事業センターの稼働にあわせて改定した「わたしたちの平塚」を新小学3年生に配布した。	・教材の貸出について、ホームページや各イベント等での周知を行う。 ・環境学習教材の貸し出しを行う。 ・「わたしたちの平塚」の必要部分の改定と、新小学3年生への配布準備を行う。		環境政策課 教育研究所

(2)環境基本計画 重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容		事業計画 (下線は変更後)			26年度			主管課
					26年度	27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定	
「環境市民」の取組や連携を支援します	市民活動や企業の取組に対する支援	①市民の環境保全活動に対する支援	「環境活動支援事業」等による支援	「環境活動支援事業」等による支援	助成金交付講座開催 情報提供	⇒		<ul style="list-style-type: none"> ・率先して環境保全活動を行う市民を増やすため、環境市民リーダー養成講座を行う。また、緑化まつり及びひらつか環境フェアへ出展する。 ・25年度助成を受けた市民活動団体の活動の成果報告会を開催する。(4月) ・26年度の助成が決定した団体に助成金を交付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・率先して環境保全活動を行う市民を増やすため、環境市民リーダー養成講座を行った。また、緑化まつりやひらつか環境フェアへ出展した。 ・25年度助成を受けた市民活動団体の成果報告会を4月26日に開催した。 ・26年度助成団体8団体に助成金を交付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期の実施状況を振り返るとともに、翌年度に向けた取組を検討する。 ・26年度助成対象の団体に中間ヒアリングを実施し、事業の進捗状況を確認する。(9～11月) ・27年度の助成分について審査会を実施する。(3月) 	環境政策課 協働推進課
			環境保全活動団体への支援	環境保全活動団体への支援	事業費の助成研修会等の開催 情報提供等	⇒		<ul style="list-style-type: none"> 環境保全活動団体への支援を行う。 ・公園愛護会連絡協議会総会の開催 ・会報の発行 ・情報提供、活動支援等 	<ul style="list-style-type: none"> 公園愛護会補助金・交付金の交付、会報の発行、研修会の実施、総会の開催を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園愛護会会報の発行及び第2回事業を開催する。 	循環型社会推進課 みどり公園 ・水辺課
		②環境にやさしい企業づくりの支援	平塚市環境共生型企業懇話会の開催	平塚市環境共生型企業懇話会の開催	懇話会の開催 活動発表	⇒	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 講演会と施設見学を開催し、その他に役員会とパネル展示等による活動発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会と施設見学を開催し、その他に役員会と、環境フェアにおいてパネル展示等による活動発表を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学と事例研究を開催し、その他に役員会とパネル展示等による活動発表を行う。 	産業振興課
			公害関係法令に関する情報提供	公害関係法令に関する情報提供	公害関係法令に関する説明会の開催、ホームページによる情報発信等	⇒	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでは、随時情報発信を行う。 ・事業場立入時に、最新の情報をチラシ等で周知する。 ・事業者説明会の内容、対象事業場について検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報発信を行った。 ・事業所立入時にチラシの配布を行った。(32社) ・事業所説明会の実施に向けて対象事業所の検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令改正、その他必要な情報について、随時情報発信に努める。 ・大気関係立入時に配付するチラシの内容を検討する。 ・詳細を決定し、年度内に説明会を実施する。 	環境保全課
		③「環境市民」のネットワークづくりの促進	「ひらつか環境ファンクラブ」の活動の促進	「ひらつか環境ファンクラブ」の活動の促進	活動発表会 4回開催	〃 4回開催	〃 4回開催	<ul style="list-style-type: none"> 緑化まつり及び環境フェアへ出展する。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化まつり、ひらつか環境フェアのイベントで、環境教室やパネル展示等による活動発表を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動発表会及び環境パネル展を開催する。 	環境政策課

(2)環境基本計画 重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容		事業計画 (下線は変更後)			26年度			主管課	
					26年度	27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定		
自然環境の保全と再生	生物多様性を保全します	生物多様性の保全対策の推進	①生物多様性の保全策の検討	生物多様性の保全に向けた仕組みづくりの検討	生物多様性の保全に向けた仕組みづくりの検討	方針等の整理	戦略策定	進行管理	戦略策定に向け、庁内関係各課によるワーキング等を行う。	戦略策定の準備として、有識者などにヒアリングを行うなどの、今年度の対応を決定した。	庁内ワーキング会議を実施する。有識者などに、ヒアリングを実施、戦略策定につながる基礎データを収集する。	環境政策課
			②野生生物の情報収集	野生生物の情報収集・発信	野生生物の情報収集・発信	情報収集・発信	⇒	⇒	市内各所の植物に関する情報を収集し、標本とデータを整理する。	湘南地区の植物標本の集約と整理を行った。	引き続き湘南地区の植物標本とデータの整理を進める。	博物館
			③生物空間の保全対策の推進	みどりと水辺のネットワークの形成	みどりと水辺のネットワークの形成	植栽等の整備	⇒	⇒	公共スペースへの植栽等の整備を推進し、みどりと水辺のネットワークを形成することによって、生物の生育・生息空間の連続性を確保する。	公共・公益スペースへの植栽等を行い、緑のネットワーク形成を図った。公園、広場等の公共用地及び公民館等の220個のプランターや花壇に住民団体、公共機関の協力を得ながら花苗を植栽した。	公共スペースへの植栽等の整備を推進し、みどりと水辺のネットワークを形成することによって、生物の生育・生息空間の連続性を確保する。	みどり公園 ・水辺課
				生物空間の維持管理と利用	生物空間の維持管理と利用	維持管理と利用	⇒	⇒	里山保全モデル事業、環境教室、大学交流事業を実施する。 馬入水辺の楽校にて「エコアップ隊」を実施する。	馬入水辺の楽校にて「エコアップ隊」を7回実施した。 里山保全モデル事業(里山の下草刈り等)、環境教室、大学交流事業(田植え)を実施した。	馬入水辺の楽校にて「エコアップ隊」を8回実施する。 里山保全モデル事業、大学交流事業を実施する。	環境政策課 農水産課 みどり公園 ・水辺課
			④野生生物への理解の促進	自然についての展示、講座、観察会等の実施	自然についての展示、講座、観察会等の実施	4回	4回	4回	自然教室や自然観察さんぽなどの行事を開催する。	博物館周辺の植物を観察する自然観察さんぽ会(2回、9人)や、セミの抜け殻の見分け方や金目川の野鳥を観察する自然教室(3回、22人)を開催した。	吉沢地区でキノコの観察会を1回実施するほか、室内での講座を実施し観察会とは別の層の市民を対象に、身近な生物への理解促進を図る。	博物館
			⑤鳥獣対策の推進	鳥獣対策の推進	鳥獣対策の推進	予防策の周知、イノシシ捕獲檻の設置 24箇所	28箇所	30箇所	イノシシ檻4基、カラス檻1基を新規に設置する。	カラス檻1基を新規設置した。捕獲檻の維持管理等に必要な講習会を実施した。	イノシシ檻4基を新規に設置する予定。	環境政策課 農水産課
特定外来生物の防除	特定外来生物の防除	捕獲・処分の実施		⇒	⇒	引き続き、周知、捕獲等実施する。	アライグマ39匹の捕獲等を実施した。	引き続き、周知、捕獲等実施する。	環境政策課			

(2)環境基本計画 重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容		事業計画 (下線は変更後)			26年度			主管課
					26年度	27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定	
里山を保全し再生します	里山の保全・再生とふれあいの推進	①里山保全モデル地区における活動の推進	里山保全モデル地区における活動の推進	里山保全モデル地区における活動の実施	里山の維持管理と活用	⇒	⇒	5月に開催する。	里山保全モデル事業(里山の下草刈り等)を1回開催した。	里山保全モデル事業を6回開催する予定。	環境政策課
			②市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進	市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進	市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進	里山保全に関する講座・研修の実施、市民を主体とした里山保全活動の実施、ホームページ等による里山保全に関する情報の発信	⇒	⇒	里山保全に関する研修等を実施します。ホームページ等で情報発信を行う。	平塚市内で里山保全活動をする1団体に対して補助金を交付した。他の1団体については、11月に補助金を交付する予定。	
			③里山の自然とのふれあいの促進	里山体験教室等の開催	里山体験教室等の開催		9回	9回	9回	里山保全モデル事業を1回、市民・大学交流事業を1回、夏休み子ども環境教室を1回開催する。	里山保全モデル事業(里山の下草刈り等)を1回、市民・大学交流事業(田植え)を1回、夏休み子ども環境教室を1回開催した。
		①農業活性化の推進	担い手育成事業	担い手育成事業	農業経営改善計画認定推進活動の実施	⇒		認定農業者の再認定活動を確実に行うことを中心に、農業経営改善計画認定推進活動を推進する。	認定農業者の再認定活動を9件行った。また、新規認定農業者を1件認定し、農業経営改善計画認定推進活動を推進した。	認定農業者の再認定活動を引き続き行い、農業経営改善計画認定推進活動を推進する。	農水産課
			サポートファーマー育成事業	サポートファーマー育成事業	農作業研修・講義の開催	⇒	⇒	市民を対象とした農作業研修を実施する。	市民14名を対象に農作業研修を実施した。	市民14名を対象に農作業研修を実施する。	
			農地の貸し借りの促進	農地の貸し借りの促進	農地制度に関する情報の発信による農地の貸し借りの促進	⇒	⇒	遊休化防止・解消を図るため、パンフレットの配布等による農地制度の情報発信を行い、意欲のある担い手への農地の利用集積を促進する(年間目標7ha)。	約7.0haの農地の利用集積を行った。パンフレット『農地の貸し借りをすすめましょう!』を市内2000戸の農家に配布するなどにより農地利用に関する情報発信を行った。	さらに、貸し借りを促進し更なる利用集積を目指す。	農業委員会

(2)環境基本計画 重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容	事業計画 (下線は変更後)			26年度			主管課	
				26年度	27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定		
農地を 保全し 活用し ます	農業の 活性化 と農業 とのふ れあいの 推進	②市民と 農業との ふれあいの 充実	市民農園 整備支援 事業	市民農園 整備事業(市民 農園整備 に対する 助成・開設)	1箇所	1箇所	1箇所	市民農園の候補地の選定と開設に向け事前調査等の手続きを行う。	市民農園の候補地を選定(西真土)。開設に向け事前調査等の手続きを行った。	平成27年3月の市民農園開園に向けて、事務手続きを行う。	農水産課
			ひらつか 花アグリ 「農の体 験・交流 館」の運営	農の体験・交流館の管理運営・広報活動の実施	⇒	⇒	大型市民農園施設(管理休憩施設・公的農園)の管理運営を行う。	大型市民農園施設(管理休憩施設・公的農園)の管理運営を良好に行った。農の体験・交流館だよりを発行し、周知を行った。	大型市民農園施設(管理休憩施設・公的農園)の管理運営を行う。		
				花畑創出事業の実施	⇒	⇒	水田農業における休耕期に、農業者の参画のもと、クリムソクローバー等の景観形成作物の栽培ができるようJAと協力して準備を行う。	水田農業における休耕期を活用し、農業者の参画のもと、クリムソクローバー等の景観形成作物の栽培ができるよう準備を行った。	10月以降に播種を開始する予定。		
			農業体験学習の支援	農業体験学習の支援	⇒	⇒	米づくり体験について、田植え体験、草とり体験を行う。	上半期は6月21日に田植え、7月20日に管理作業(草取り)を実施した。	10月18日、19日に稲刈り、脱穀作業を行う。		
			地産地消の推進	地産地消の推進	⇒	⇒	着ぐるみを様々な場で活用することで平塚産農産物の販売促進につなげる。	SunSunマルシェ、緑化まつりのほか、様々なイベントに参加し、平塚産農産物をPRした。	でてこいまつりやひらつか花アグリ収穫祭など引き続きイベントに積極的に参加して、平塚産農産物をPRする。		
				学校給食における地場産品の利用	⇒	⇒	地元農家が生産した新鮮な野菜、平塚漁港で水揚げされた魚や水産加工品等地場産品の使用を推進する。	平塚産野菜を月平均で4~5品目決めて、さらに指定品以外でも平塚産が供給可能な場合は積極的に使用することが定着した。(学校栄養士業務軽減のため中間集計なし)	地元農家が生産した新鮮な野菜、平塚漁港でみずあげされた魚や水産加工品等地場産品の使用を推進する。		
		③地産地消の推進	地場産品の普及	「湘南ひらつかふれあいマーケット」の開催、「湘南ひらつか名産品」の普及・PR等	⇒	⇒	湘南ひらつかふれあいマーケットを月1回開催する。湘南ひらつか名産品の普及・宣伝を行う。	湘南ひらつかふれあいマーケットを月1回(計6回)開催した。「湘南ひらつか名産品」の普及・宣伝のため、「湘南ひらつか七夕まつり」等の各種催事に参加した。	湘南ひらつかふれあいマーケットを月1回開催する。湘南ひらつか名産品の普及・宣伝を行う。		
				地域ブランドの開発支援等の実施	⇒	⇒	産業活性化会議の開催及び各プロジェクトを開催する。	産業活性化会議の開催のほか、6次産業化・地産地消法、中小企業地域資源活用促進法による認定事業者の連絡会を立上げ、新商品等の開発の支援を実施した。	産業活性化会議及び各プロジェクトを開催する。		

(2)環境基本計画 重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容		事業計画 (下線は変更後)			26年度			主管課			
					26年度	27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定				
都市環境の保全と創造		みどりのネットワークの形成	①拠点となるみどりの確保	身近な公園整備の推進	身近な公園整備の推進	高麗山公園再整備、街区公園再整備	⇒	⇒	—	—	高麗山公園内の桜の補植を予定。	みどりの公園 ・水辺課		
			花とみどりのまちづくりの推進	花とみどりのまちづくりの推進	公共施設への草花等の配布	⇒	⇒	年1回(下半期)実施する。	上半期は実績なし。	10月に公共施設等へ花苗を6,480株、球根を18,360球を配布する。				
					モデル地区への草花の苗の配布	⇒	⇒	モデル地区及びモデル商店街へ花苗を2800株、商店会へ250株を配布する。	6月にモデル地区及びモデル商店街へ花苗を2,800株、商店会へ370株を配布した。	11月にモデル地区及びモデル商店街へ花苗を2,800株、商店会へ360株を配布する。				
			②みどりのつながりの確保	生垣の設置促進と良好な樹木等の保全	新たな生垣の設置に対する助成			その他民有地緑化策についても検討			新たな生垣設置に対して助成を行う。(年間目標160m)		33.4mの生け垣が設置され、これに対し助成した。	新たな生垣設置に対して助成を行う。(年間目標160m)
					保全樹林制度による樹木等の保全	保全樹木62本 保全樹林9箇所 保全生垣5箇所	" 63本 " 9箇所 " 5箇所	未定	保全樹木62本 保全樹林9箇所 保全生垣5箇所	保全樹木59本 保全樹林9箇所 保全生垣5箇所	保全樹木59本 保全樹林9箇所 保全生垣5箇所			
			道路沿いの緑化	道路沿いの緑化	市民による緑化協力箇所数10箇所(苗木の提供3,800本)	" 11箇所 (" 3,900本)	" 12箇所 (" 4,000本)	10箇所に2000本程度の提供を行う。	8箇所に花苗1805本、培養土等22袋を提供した。	10箇所に2000本程度の提供を予定している。	道路管理課			
うるおいとやすらぎのあるまちにします	市民や事業者による緑化活動の支援と促進	緑化に関する普及啓発の実施	緑化に関する普及啓発の実施	緑化まつり、緑化ポスター・標語コンクールの実施	⇒	⇒	第41回平塚市緑化まつりを実施する。 第41回平塚市緑化ポスター・標語コンクールを実施する。	第41回緑化まつりを実施した。(来場者55,000人) 第41回平塚市緑化ポスター・標語コンクールを実施した。(応募数:ポスター633点、標語1,112点)	第42回平塚市緑化まつり開催に向けた検討を行う。 第41回平塚市緑化ポスター・標語コンクール表彰式を実施する。	みどりの公園 ・水辺課				
		市民の緑化活動に対する支援	市民の緑化活動に対する支援	緑化モデル団体や公園愛護会の活動に対する支援	⇒	⇒	うるおいとやすらぎのあるまちにするため、市民の緑化活動に対する支援策として、地域で緑化を推進する「緑化モデル団体」及び「公園愛護会」への支援を継続し、みどりのネットワーク形成に努める。	公園愛護会補助金・交付金の交付、会報の発行、研修会の実施、総会の開催を行った。 緑化モデル団体25団体に花苗を配布した。	公園愛護会会報の発行、第2回事業の開催を行う。 緑化モデル団体のうち、2団体に団体運営補助金を交付した。また、その他のモデル団体に花苗を配布した。					

(2)環境基本計画 重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	事業計画 (下線は変更後)						26年度			主管課
			具体的な取組内容			26年度	27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定	
			事業所等における緑化の促進	事業所等における緑化の促進	事業所等における緑化促進に関する指導							
			事業所等における緑化の促進	事業所等における緑化の促進	⇒	⇒	まちづくり条例に基づき、事業所等における緑化促進に関する指導を実施する。	まちづくり条例に基づき、緑化指導を実施した。(緑化計画書の提出は42件、その他にも出来るだけ多くの緑地を確保を促した。)	まちづくり条例に基づき、事業所等における緑化促進に関する指導を実施する。	みどり公園 ・水辺課		
		さわやかで清潔なまちづくりの推進	「美化推進モデル地区」における取組の支援	「美化推進モデル地区」における取組の支援	⇒	⇒	モデル地区・活動等の充実	引き続き指定地区への支援を行う。	美化推進モデル地区に対し、ごみ袋やチラシの配布、またクリーンひらつか指導員の派遣によるさわやか条例のPRを行った。	引き続き指定地区への支援を行う。	循環型社会推進課	
	①さわやかで清潔なまちづくりの推進		地区美化推進委員会に対する支援	地区美化推進委員会に対する支援	⇒	⇒	活動に対する助成や連絡協議会の開催等	事業計画にさわやか条例の見直しに向けた協議を追加し意見交換等を行う。	連絡協議会を開催し、まちぐるみ大清掃や補助金支給に関する事務連絡を行った。各地区の取組について情報交換を行った。さわやか条例のアンケートを実施した。	連絡協議会を開催し、まちぐるみ大清掃や報告書の記載に関する事務連絡を行うほか、事業仕分けの内容を共有し、さわやか条例の見直しについて意見を集約する予定。		
	①さわやかで清潔なまちづくりの推進		清潔なまちづくりに向けた普及啓発の実施	清潔なまちづくりに向けた普及啓発の実施	⇒	⇒	まちぐるみ大清掃の実施(年2回)、ポイ捨て防止キャンペーンの実施等	引き続きまちぐるみ大清掃やキャンペーンを行う。	春のまちぐるみ大清掃を1回、条例キャンペーンを3回実施した。	秋のまちぐるみ大清掃を1回、土木部との合同による条例キャンペーンを1回実施する予定。		
	①公共施設における新エネルギーの率先導入		公共施設への太陽光発電システムの率先導入	公共施設への太陽光発電システムの率先導入	⇒	⇒	屋根貸し制度等に関する調査・検討、導入可能な施設への整備	他市の設置事例の調査・研究を実施するとともに課題等について整理、検討を行う。また、導入可能性のある施設等の精査を行う。	他市の設置事例の調査・研究を実施するとともに課題等について整理、検討を行った。また、導入可能性のある施設等の精査を行うとともに、施設所管課等と調整を行った。	関係課との協議をさらに進めていき、導入施設の決定や、事業者選定手続きを進める。		環境政策課
地球環境保全への貢献			公共施設への太陽光発電システムの率先導入	公共施設への太陽光発電システムの率先導入	⇒	⇒	各施設の完成に向けた工事	競輪場メインスタンド改修工事等の発注各施設の完成に向けた工事	各施設の完成に向けた工事を推進する。	新庁舎へ太陽光発電システムを導入した。	各施設の完成に向けて工事を推進する。	建築住宅課 事業担当課

(2)環境基本計画 重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容		事業計画 (下線は変更後)			26年度			主管課
					26年度	27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定	
		新エネルギーの導入促進 ②一般家庭や事業者への太陽光発電システム等の導入促進	新エネルギー導入に関する調査・検討の実施	新エネルギー導入に関する調査・検討の実施	調査・検討	⇒	⇒	引き続き新エネルギーに関する情報収集などを行う。	環境審議会の自主勉強会に向け、再生可能エネルギー等の参考資料を作成した。	環境審議会に配布し、導入可能性について検討する。また、引き続き新エネルギーの導入に関する情報収集に努める。	環境政策課
	一般住宅への太陽光発電システム等の設置に対する助成		一般住宅への太陽光発電システム等の設置に対する助成	太陽光発電システムに対する助成 400件	(〃 450件) 適宜見直し	(〃 450件) 適宜見直し	広報ひらつかやホームページ等への掲載、各イベントで周知し、400件の助成を行う。	各種イベントにおけるリーフレットの配布やホームページ等の掲載により、制度の周知を積極的に行った。9月末現在、約160件の申し込みを受け付けた。	ホームページ等への掲載、各イベントでの周知を行い、400件の助成を行う。		
	事業者の太陽光発電システム等の設置に対する支援		事業者の太陽光発電システム等の設置に対する支援	燃料電池の設置に対する助成 70件	(〃 70件) 適宜見直し	(〃 70件) 適宜見直し	広報ひらつかやホームページ等への掲載、各イベントで周知し、70件の助成を行う。	各種イベントにおけるリーフレットの配布やホームページ等の掲載により、制度の周知を積極的に行った。9月末現在、40件の申し込みを受け付けた。	ホームページ等への掲載、各イベントでの周知を行い、70件の助成を行う。		
	事業者の太陽光発電システム等の設置に対する支援		事業者の太陽光発電システム等の設置に対する支援	本市融資制度内に資金メニューの設置 利子補給・信用保証料補助	⇒	⇒	資金メニューに「地球温暖化対策資金」を設置するとともに、融資を受けた事業者に対し、利子補給・信用保証料補助を行う。	資金メニューに「地球温暖化対策資金」を設置。融資及び相談件数とも0件だった。利子補給を1件実施した。	資金メニューに「地球温暖化対策資金」を設置するとともに、融資を受けた事業者に対し利子補給・信用保証料補助を行う。	産業振興課	
			新エネルギーに関する普及啓発の実施	新エネルギーに関する普及啓発の実施	イベントでのPRや子ども環境教室の開催など	⇒	⇒	緑化まつりやひらつか環境フェアで環境教室を開催する。	緑化まつりやひらつか環境フェアなどのイベントで新エネルギーに関する環境教室を開催した。	上半期の実施状況を振り返るとともに、翌年度に向けた取組を検討する。	環境政策課

(2)環境基本計画 重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容	事業計画 (下線は変更後)			26年度			主管課	
				26年度	27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定		
地球温暖化防止に取り組みます		①環境に配慮したくらしの普及	日常生活における環境への配慮の取組の促進	日常生活における環境への配慮の取組の促進	「ひらつかCO2CO2プラン」の取組呼びかけなど	⇒	⇒	7月に、各小中学校を通じて、児童・生徒及び保護者等の市民に取り組みを呼びかける。	ひらつか環境フェア等のイベントや小中学校等を通して、市民等にコツコツプラン等の普及を働きかけた。	上半期の実施状況を振り返るとともに、翌年度の取り組みを検討する。	環境政策課
			一般住宅への太陽光発電システムの設置に対する助成(再掲)	一般住宅への太陽光発電システムの設置に対する助成(再掲)	太陽光発電システム等の設置に対する助成 400件	(〃 450件) 適宜見直し	(〃 450件) 適宜見直し	広報ひらつかやホームページ等への掲載、各イベントで周知し、400件の助成を行う。	各種イベントにおけるリーフレットの配布やホームページ等の掲載により、制度の周知を積極的に行った。9月末現在、約160件の申し込みを受け付けた。	ホームページ等への掲載、各イベントでの周知を行い、400件の助成を行う。	
				燃料電池の設置に対する助成(再掲)	燃料電池の設置に対する助成(再掲)	70件	(〃 70件) 適宜見直し	(〃 70件) 適宜見直し	広報ひらつかやホームページ等への掲載、各イベントで周知し、70件の助成を行う。	各種イベントにおけるリーフレットの配布やホームページ等の掲載により、制度の周知を積極的に行った。9月末現在、40件の申し込みを受け付けた。	
			電気自動車等の導入に対する助成	電気自動車等の導入に対する助成	電気自動車 25件	-	-	広報ひらつかやホームページ等への掲載、各イベントでの周知を行い、電気自動車の導入に対して25件の助成を行う。	各種イベントにおけるリーフレットの配布やホームページ等の掲載により、制度の周知を行った。その結果、9月末現在、12件の申し込みを受け付けた。	ホームページ等への掲載や各イベントでの周知を行い、電気自動車25台の助成を行う。	
			自治会等が管理する防犯灯へのLEDの導入に対する助成	自治会等が管理する防犯灯へのLEDの導入に対する助成	設置費の助成	⇒	⇒	LED街路灯80灯分の助成を行う。	155灯のLED防犯灯導入に対して助成を行った。	130灯のLED防犯灯の導入に対して助成を行う。(自治会等のLED防犯灯への需要が増加したことから、当初予定の80灯から上方修正する。)	
			雨水の有効活用の促進	雨水の有効活用の促進	雨水貯留槽の設置に対する助成 20基	〃 20基	〃 20基	雨水貯留槽の設置に対する助成を行う。(15基)	雨水貯留槽の設置に対する助成を行った。(7基)	雨水貯留槽の設置に対する助成を行う。(13基)	

(2)環境基本計画 重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容	事業計画 (下線は変更後)			26年度			主管課
				26年度	27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定	
暮らしや事業活動における環境への配慮の促進	②環境に配慮した事業活動の普及	省エネルギー機器等の利用促進	省エネルギー機器等の利用促進	イベント等における情報提供	⇒	⇒	市民団体や事業者等と協力し、8月に「ひらつか環境フェア2014」を開催し、省エネ機器等の情報提供を行う。	市民団体や事業者等と協力し、8月に「ひらつか環境フェア2014」を開催し、省エネ機器等の情報提供を行った。	上半期の実施状況を振り返るとともに、翌年度に向けた取組を検討する。	環境政策課
			クール・ビル作戦等の実施	クール・ビル作戦等の実施	クール・ビル作戦、クール・タウン作戦の実施	⇒	⇒	クール・タウン作戦を実施し、ゴーヤ苗を市民に配布する。	希望する市民に対して、ゴーヤ苗の配布するとともに「みどりのカーテンコンテスト」参加者を募集した。	
		平塚市環境共生型企業懇話会の開催(再掲)	平塚市環境共生型企業懇話会の開催(再掲)	懇話会の開催活動発表	⇒	⇒	講演会と施設見学を開催し、その他に役員会とパネル展示等による活動発表を行う。	講演会と施設見学を開催し、その他に役員会と、環境フェアにおいてパネル展示等による活動発表を行った。	施設見学と事例研究を開催し、その他に役員会とパネル展示等による活動発表を行う。	産業振興課
		事業者の太陽光発電システム等の設置に対する支援(再掲)	事業者の太陽光発電システム等の設置に対する支援	本市融資制度内に資金メニューの設置 利子補給・信用保証料補助	⇒	⇒	資金メニューに「地球温暖化対策資金」を設置するとともに、融資を受けた事業者に対し利子補給・信用保証料補助を行う。	資金メニューに「地球温暖化対策資金」を設置した。融資及び相談件数とも0件だったが、利子補給を1件実施した。	資金メニューに「地球温暖化対策資金」を設置するとともに、融資を受けた事業者に対し利子補給・信用保証料補助を行う。	
		事業活動における環境への配慮の促進	事業活動における環境への配慮の促進	事業者に対する働きかけ、情報提供、設備導入に対する助成	⇒	⇒	環境設備の導入助成制度を広報紙、ホームページ、チラシなどにより周知を行う。	企業立地促進補助金環境施設整備助成金の申請が1件あった。	コツコツプラン(事業者編)を市ホームページに掲載し、周知する。環境設備の導入助成制度を広報紙、ホームページ、チラシなどにより周知する。	産業振興課 環境政策課
		建築に伴う環境負荷の低減	建築に伴う環境負荷の低減	法令に基づく指示等の実施	⇒	⇒	法令に基づく指示等を実施する。	省エネルギー法に基づく届出において著しく不十分な届出はなかった。	法令に基づく指示等を行う。	建築指導課
		ひらつかエコモードの取組の推進	ひらつかエコモードの取組の推進	取組の推進	⇒	⇒	平成26年度の目標に向け、取組を継続的に推進する。	平成26年度の目標に向け、省エネルギー、省資源の取組などを継続的に推進した。	平成26年度の目標に向け、省エネルギー、省資源の取組などを継続的に推進するとともに、環境監査を行う。	環境政策課

(2)環境基本計画 重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容	事業計画 (下線は変更後)			26年度			主管課			
				26年度	27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定				
			③市の事業活動における環境への配慮	ごみの焼却に伴う余熱利用の推進	ごみの焼却に伴う余熱利用の推進	基本設計・実施設計作成	建設工事着手	供用開始	基本設計を完了した。	基本設計を完了した。	実施設計に着手する。	環境施設課	
				環境に配慮した公共施設の整備の推進	環境に配慮した公共施設の整備の推進	各施設の完成に向けた工事	競輪場メインスタンド改修工事等の発注 各施設の完成に向けた工事	各施設の完成に向けた工事	各施設の完成に向けた工事に環境に配慮した施設整備を推進する。	環境に配慮した新庁舎第一期工事が完成した。	平塚市民病院など、環境に配慮した施設整備を推進する。	建築住宅課 事業担当課	
				防犯灯へのLEDの導入 50灯	防犯灯へのLEDの導入 50灯	防犯灯へのLEDの導入 50灯	防犯灯へのLEDの導入 50灯	防犯灯へのLEDの導入 50灯	防犯灯へのLEDの導入 50灯	従前の手法とともに、リース方式を採用することで、導入を進める。	従来の手法により9灯を整備するとともに、リースによる一括LED化に向けた準備を進めた。	リース等による市管理防犯灯約4,700灯の一括LED化が完了する予定。	危機管理課
										街路灯のLED化の検討・導入	⇒	⇒	対称可能な道路照明灯等を比較検討する。
				廃棄物発電	廃棄物発電	発電余剰分売電	⇒	⇒	⇒	発電余剰分を売電する。	発電余剰分を売電した。 売電した電力量 12,117,480 kWh	発電余剰分を売電する。	環境施設課
				公共施設における環境に配慮した電力調達契約の推進	公共施設における環境に配慮した電力調達契約の推進	事業者の選定 電力調達	⇒	⇒	⇒	平成25年度と同様に手引きに基づき競争の取りまとめを行い、事業者の選定を行う。環境に配慮した事業者選定を推進する。	環境に配慮した事業者選定を行った。	手引きに基づき競争の取りまとめを行い、事業者の選定を行っていく。環境評価項目を満たした事業者を対象に入札を実施し、契約を行う。	契約検査課 環境政策課 事業担当課
			ごみの減量化・資源化に向けた普及啓発	ごみの減量化・資源化に向けた普及啓発	ごみ減量化・資源化協力店制度の拡充等	⇒	⇒	⇒	ごみ減量化・資源化協店の利用を啓発するとともに、協力店を拡充する。	協力店は、新規登録もあるが、閉店等もあるので減少した。	ごみ減量化・資源化協店の利用について啓発するとともに、協力店を拡充する。	循環型社会 推進課 環境施設課	

(2)環境基本計画 重点施策の具体的な取組

施策の方向	施策の柱	施策の項目	具体的な取組内容	事業計画 (下線は変更後)			26年度			主管課	
				26年度	27年度	28年度	上半期(予定)	上半期実績	下半期予定		
循環型社会をつくり ます	廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	①廃棄物の発生抑制・資源化の推進	家庭ごみの有料化に向けた検討	家庭ごみの有料化に向けた検討	有料化に向けた調査・研究	⇒	⇒	提言を受け設定する具体的なテーマについて議論を予定する。	廃棄物対策審議会において、提言を踏まえた、一般廃棄物処理基本計画への位置付けを検討した。	廃棄物対策審議会において、提言を踏まえた、一般廃棄物処理基本計画への位置付けを行う。	循環型社会推進課
			生ごみの減量化・資源化の促進	生ごみの減量化・資源化の促進	コンポスターの販売 115台	115台	115台	イベントやチラシの回覧、生ごみ自家処理相談員制度で更なる啓発を図る。	イベントでの啓発、回覧での広報活動を行った。 (上半期の販売台数は25台)	庁内の2箇所(リサイクルプラザ、循環型社会推進課収集・分別推進担当)で販売を行う。また、ごみ通信(回覧)などで広報を行う。	
					電動生ごみ処理機購入費の助成 30件	30件	30件	イベントやチラシの回覧、生ごみ自家処理相談員制度で更なる啓発を図る。	イベント(緑化まつり)での処理機の紹介、補助制度説明のチラシの配布を行った。また、ごみ通信(回覧)での啓発を行った。	イベントやチラシの回覧、協働事業等で更なる啓発を図る。	
			事業系ごみ多量排出者に対する指導	事業系ごみ多量排出者に対する指導	56件	57件	58件	事業所の排出量を把握し、多量排出事業者からの減量化等計画書の提出により、排出抑制、減量化、資源火の指導を行う。	調査を実施し各事業所の排出量を把握。多量排出事業者は63社となり、全事業所から「減量化等計画書」を提出してもらい、事業者自身に排出量削減の意識付けをし、担当課で内容を把握した。	多量排出事業者のうち数社に立ち入り現場確認を行う。	
			剪定枝の有効利用の検討	剪定枝の有効利用の検討	家庭から排出される剪定枝の回収について、モデル地区を設け効果を検証	市内から排出される剪定枝を二宮町に完成予定の資源化施設へ搬出	⇒	費用対効果を考慮し、モデル地区の設定は見送る予定。平成27年度の予算要求に向け、収集体制の設計、見積りでの収受を行う。	収集体制の設計、概算費用の算出を行った。	収集体制の詳細を設計する。	
		②廃棄物の適正処理の推進	焼却残さの資源化の推進	焼却残さの資源化の推進	新たなごみ焼却施設における焼却残さ資源化の開始	⇒	⇒	ごみ焼却施設焼却残さを資源化する。	約3,250トンのごみ焼却施設焼却残さを資源化した。	ごみ焼却施設焼却残さを資源化する。	
			新たなごみ焼却施設の整備	新たなごみ焼却施設の整備	ごみ焼却施設の整備・稼働	-	-	平成25年に竣工、現在稼働している。	-	-	
			広域的なごみ処理の推進	広域的なごみ処理の推進	広域処理施設の整備、ごみ分別収集区分の統一等	⇒	⇒	分別収集区分の統一に係るマニュアルを運用する。	1市2町で異なる分別収集区分について、統一を図るために作成したマニュアルを運用した。	新たな品目を加えた分別収集区分の統一に係るマニュアルを作成する。	